

# プロフィール

## 橘家 文太（たちばなや ぶんた）



写真: 武藤奈緒美

一般社団法人落語協会所属。落語家。二ツ目。1987年生まれ。2014年12月、八代目林家正蔵一門の橘家文左衛門（現三代目文蔵）に入門。前座名は門朗。2020年2月、二ツ目昇進で文太と改名。出囃子は炭坑節。

落語家になる前は、北九州市の中学を卒業後、地元のペンキ屋に就職。23歳の時に上京。キャバクラの従業員などをしていた27歳の時に落語に出会う。買い物ついでに偶然新宿末廣亭の前を通りがかった時のこと。「ビル街の中に突然、出現した古い建物に興味をひかれ、木戸口で聞いたら『落語をやっている』と言われ入ってみた。のちに師匠となる文蔵の高座にも触れ、その直後自宅近くの独演会の看板を見て聴きに行った。」これをきっかけに入門。2020年8月より東京の落語家として初めて福岡県北九州市に活動拠点を移す。2021年5月には「落語car」を製作。コロナ禍において移動できる演芸場（＝落語car）を持つことで全国どこでも落語を届ける活動を精力的に開始。

現在FBS福岡放送毎週日曜日17時25分からの「今日の焦点・北九州」にてナレーションを担当。2021年11月、第80回西日本文化賞奨励賞（社会文化部門）受賞。独特のフラと心地よい声での語りが特徴。大卒の落語家が増えてきている中、異色の経歴を持ち、古き良き時代の芸人の香りを感じさせる若手落語家だ。